

V 理工学部

1. 志望方法

類	志 望 方 法
物 質 ・ 環 境 類	左欄記載の2つの類のうちから1つを選び志望してください。
電 子 ・ 機 械 類	

2. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、次の①～③を総合して判定します。

- ①日本学生支援機構が行う「2020年度日本留学試験」
- ②群馬大学で実施する試験
- ③成績証明書

ただし、①～③の結果に著しく不良のものがあった場合は、上記にかかわらず不合格となることがあります。

なお、課せられた試験等を全て受験しなければ、失格となります。

(1) 試験方法

試験方法	配点	出題意図	摘要
<p style="text-align: center;">面 接</p> <p>物質・環境類：個人面接／約15分／面接員複数 電子・機械類：個人面接／約15分／面接員複数</p>	※	基礎能力並びに勉学に対する意欲・将来展望等に関する質問を行い、総合的に判断します。	

(注) 面接(※)印は、総合判定の資料とします。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。

(2) 入試日時

○ 理工学部

月 日	時 間		
	9 : 45	10 : 00	16 : 00
2月26日(金)	集 合	諸 注 意	面 接

(注) 1 受験者の入構開始時刻は8時45分です。諸注意等があるので9時45分までには、定められた試験室に入室してください。

2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

(3) 試験場

試 験 場	所 在 地	試験場までの交通について
群馬大学理工学部 桐生キャンパス	桐生市天神町1-5-1	40ページ「4. 試験場までの交通について」を参照

3. 注意事項

- (1) 試験室は掲示(図示)によって案内し、試験室の下見は認めません。
- (2) 受験者は、昼食を持参してください。
- (3) 試験当日における付添者の試験場への入構は、遠慮願います。
- (4) 群馬大学では、受験の際の宿泊施設等の斡旋は行いません。

4. 試験場までの交通について

桐生試験場（群馬大学理工学部桐生キャンパス）

JR両毛線桐生駅下車、北方へ2.5km

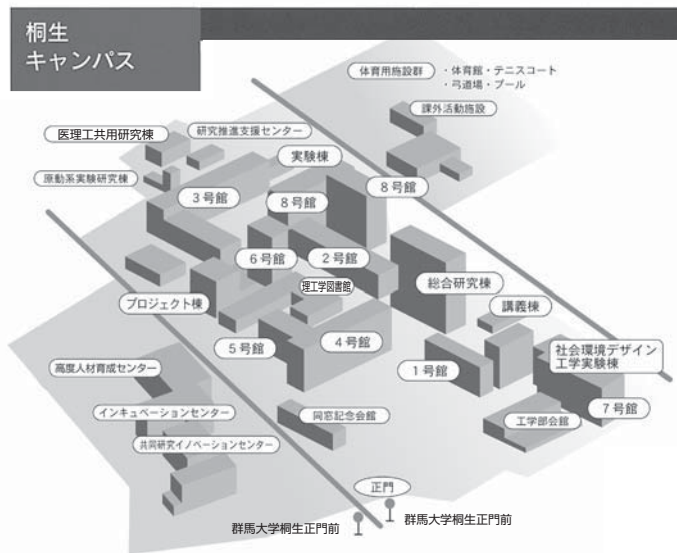
東武桐生線新桐生駅下車、北方へ4.1km

乗車場所	バス行き先案内表示	下車停留所	所要時間
J R 両毛線桐生駅北口 おりひめバス「桐生駅北口」	桐生女子高前行 上菱団地行	「群馬大学桐生正門前」	約 7 分
J R 両毛線桐生駅北口から 徒歩約 10 分 おりひめバス「本町五丁目」	梅田ふるさとセンター前行		約 4 分
東武桐生線新桐生駅 おりひめバス「新桐生駅」	桐生女子高前行 上菱団地行	「群馬大学桐生正門前」	約15分

※試験場への自動車・オートバイ等の乗入れは、禁止します。

※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

※理工学部は、2013年4月に工学部を改組して設置された学部ですが、施設の名称が「工学部」となっている場合がありますので、御留意ください。



5. 類及び進級について

理工学部は、2021 年 4 月より「5 学科」から「2 類」に改組します。

「類」とは幅広く理工学を学ぶためのものです。分野横断的な教育を強化し、IoT（Internet of Things：モノのインターネット）や持続可能な社会に向けた課題解決ができる人材を育成します。

入学後はまず「類」に所属し、教養教育や理工学基礎科目、類共通科目などを通して幅広い知識を身に着けます。その後、自分の適性を考えながら「プログラム」を選択します。従来の伝統的な学術分野を背景とするプログラムに加えて、理工学の知識を基にした食品工学、化学と物理の融合した材料科学、電気と機械の融合した知能制御などユニークなプログラムによって、みなさんの専門性を育てていきます。

進級する教育プログラムについては、学生の希望や成績等をもとに決定されます。

(1) 物質・環境類 2 年次後期から、五つの教育プログラムに分かれます。

①応用化学プログラム

物質の性質・構造に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

②食品工学プログラム

食品工学の基礎や食品の製造に関わる食品生産科学について学びます。

③材料科学プログラム

物質科学と金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を幅広く学びます。

④化学システム工学プログラム

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

⑤土木環境プログラム

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

(2) 電子・機械類 3 年次前期から、三つの教育プログラムに分かれます。

①機械プログラム

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械力学技術について学びます。

②知能制御プログラム

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoT によるエネルギー制御技術について学びます。

③電子情報通信プログラム

最先端のデバイス、通信技術、IoT システムなどの情報技術について学びます。